

日時：2021年12月27日(月)16:00 - 18:00

形式：ZOOMオンライン会議とオンサイト(MEJオフィス)での開催

参加数：16企業 19名

テーマ：① 日本への医療渡航受入れについて ~ 身元保証をするという事 ~
② MTFコンプライアンスガイドライン再確認

コンプライアンス宣言

私達、医療渡航フォーラム会員は、MTF会則の行動規範に基づき、渡航受診者が「患者中心の合理的医療」を受けられるよう高い倫理性と順法の精神をもって行動し、より高品質な医療渡航支援を提供することにより、日本の医療への貢献および、日本への医療渡航の発展を目指すことを宣言します。

MTF座談会は、会員様のみの会合であり、気兼ねなく、自由闊達にご意見やお悩みを共有し合うことを主旨としております。このようなクローズドな場であっても特に価格に関する言動は、カルテル(=不当な取引制限)に抵触する可能性があるため、コンプライアンスを意識し遵守しましょう。

必ず意見交換開始前に上記スライドを投影し、参加者全員の宣言を確認後、座談会を開始。MTF会員は常にコンプライアンスを遵守致します。

【座談会の内容】

12月初旬に経済産業省・観光庁より医療滞在ビザ身元保証機関に対して注意喚起された「日本への医療渡航受入について」をテーマに、注意喚起に明記されていた背景をもとに、主に①身元保証機関 ②受入医療機関 ③患者家族の三視点に絞り、各視点ごとに何が問題だったのか、どうすれば防げたのかなどを問う事前アンケートを展開し、座談会内で各回答を紹介しながら意見交換を行った。

医療渡航に関わる、医療機関・患者(患者家族)・渡航支援企業、この三者間の信頼関係がいかに重要か、また、疑問点を完全に払拭し患者の安全・安心を確保した上で、医療渡航受入の判断はすべきという事もあらためて認識することが出来た。一方で、当事者になった場合、状況も条件も異なる中、冷静に正しい対応が必ず出来るとは限らず、身元保証をするという事の責任の重さも、今回の注意喚起事例であらためて思い知らされた。

今回を良い機会と捉え、現行のMTFコンプライアンスガイドラインを、MTF会員にとってより分かり易く実態に合ったものに改訂していくために、今後、会員の意見を集約していく旨を会員に周知した。

【お知らせ】

- 第四回MTF Web座談会開催日時 1月24日(月)16:00-18:00(予定)
- 第二回MTFマッチングイベント開催(2022年2月上旬予定)

2021年最後のMTF座談会は、コロナ感染対策のもと、オンサイト(@MEJオフィス)&オンライン(ZOOM)にて開催しました。コロナ終息までにはまだ時間がかかりますが、2022年も止まらずに前進し続けMTFを盛り上げていきたいと思っております。引き続き、ご支援賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。